

【山梨学院大学】

「令和5年度教職課程自己点検・評価報告書」に対するコメント

- ・2023年度に教職センターを新設し、前年度より大学全体で教職課程を運営する動きが活発化している。
- ・総合評価を学部ごとにまとめられているが、学部共通の課題と学部固有の課題を区別して記述するほうが読みやすい。
- ・教職センター会議で「学生指導」を定期的に議論する体制になっていることは、組織的な学生指導の工夫の一つと言える。今後、同会議での議論が実質的な学生指導上の工夫につながっていくことが期待される。
- ・ICT教育環境の整備が昨年度に引き続き課題となっていると明記されているが、具体的な改善の方向性を明記した方が良いと思われる。例えば、保健体育や栄養教諭などICT機器の活用法がシラバスで明確化されていないものについては、活用が図られる授業を中心にシラバスの明確化が求められる。
- ・教職FD・SD研修会において、デジタル教科書を活用した模擬授業の指導法に関する研修会を実施した点は評価できる。
- ・全体的に「取り組み観点」に沿った記述になっているので、それぞれの取り組みに込める全体的な意図がまとめて示されることも必要である。

令和6年4月15日

一般社団法人全国私立大学教職課程協会 自己点検・評価委員会